

ヒロハヤブソテツ

Cyrtomium macrophyllum (Makino) Tagawa

オシダ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

分布地がごく稀で個体数が少ない。(現況:RO)

形態

葉は羽状複葉で、短く斜上した根茎から群がって生える。葉柄下部には暗褐色の鱗片が密生する羽片は3~10対で幅広く基部は円くて耳垂がない。縁は全縁ないしわずかに波状となる。先はしばしば長くのびることがあり、鋸歯がある。孢子嚢は散在し、包膜は灰白色で全縁である。

国内分布

本州、四国、九州、佐渡。

県内分布

加賀中央区、南加賀区。

生態など

常緑性の地表植物である。やや好陰湿潤性、繁殖は孢子による。孢子は初夏に熟し始め、風で散布する。無配生殖を行う。

生育環境

ヤブツバキクラス域の岩の多い林下や林縁に生育する。

危険要因

道路工事、踏みつけ、自然遷移、産地局限。



林 二良・2008年9月7日・白山麓



県内の分布